

平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
 コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 奥村 浩士
 (氏名) 土谷 康彦

TEL 03-3456-0561

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	5,317	△1.9	209	△39.4	180	△34.2	113	△62.7
24年2月期第3四半期	5,423	10.2	346	31.1	274	47.0	303	91.6

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 101百万円 (△63.4%) 24年2月期第3四半期 276百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	26.22	—
24年2月期第3四半期	70.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	7,156	1,615	22.6
24年2月期	6,938	1,578	22.8

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 1,615百万円 24年2月期 1,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年2月期	—	0.00	—		
25年2月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,163	△0.3	201	△49.9	144	△55.3	66	△78.9	15.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	4,318,444 株	24年2月期	4,318,444 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	5,672 株	24年2月期	5,573 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	4,312,794 株	24年2月期3Q	4,312,915 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に、前半は緩やかに回復する動きをみせておりましたが、円高の長期化、欧米先進国の財政緊縮による景気の下押し、ならびに中国ほか新興国を含めた世界的な景気減速などの要因により、依然として、先行き不透明な環境が続いております。

化粧品業界においては、経済産業省発表の「化粧品出荷統計」（平成24年1月～10月累計）によると、販売金額・販売個数ともに、ほぼ前年並みの水準で推移しておりますが、長期化する円高により海外向け製品の出荷が減退するほか、国内市場では消費者ニーズの多様化や低価格化が進行し価格競争が一段と激化するなど、厳しい市場環境となっております。

このような事業環境のもと、当社グループは、中期成長戦略の一つである「更なる成長に向けた事業構造改革プロジェクト（STEP-UP80）」の枠組みの中で、ファンデーション、ライナー・マスカラ、UV製品などの戦略的注力領域における売上の拡大を目標に掲げ、新処方・新技術の開発や製品開発力と技術力を活かしたグローバルな企画提案型営業の推進に努め、売上の拡大、生産性の向上、ならびにコスト削減などに注力してまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間において、円高の影響や海外の不安定な社会・経済情勢の影響を受け、全般的に海外向け製品の出荷が前年同期と比べ伸び悩む結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高5,317百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益209百万円（同39.4%減）、経常利益180百万円（同34.2%減）、四半期純利益は113百万円（同62.7%減）となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりです。

（日本）

国内の化粧品事業は、スキンケア化粧品やライナー・マスカラ類、口紅類、白粉・打粉類が前年同期を上回る受注を獲得し好調に推移しましたが、ファンデーションやアイシャドー・チーク類が円高等の影響により海外向け製品の出荷が伸び悩んだことを主因に前年同期と比べ落ち込んだため、国内全体の売上高は前年同期と比べ176百万円減少しました。

営業利益は、売上高の減少に伴い事業収益が減少したうえに、「STEP-UP80」の一環として取り組んでいる生産性向上のための設備投資による減価償却費や修繕費の増加や、今春より取り組んできた品質管理向上のための費用の投下を主な要因として、前年同期と比べ減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,618百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は216百万円（同47.5%減）となりました。

（仏国）

子会社THEPENIER PHARMA INDUSTRIE S.A.S.（以下、テプニエ社という）の所在する欧州経済は、財政緊縮による景気下押しに加え金融不安の高まりによって個人消費や設備投資の手控えが続き、依然として消費需要の低迷や雇用情勢の悪化が深刻化するなど厳しい情勢が続いております。

このような事業環境のもと、テプニエ社では、グループあげてのグローバルなマーケティングが奏効し、メイクアップ化粧品の受注が前年同期と比べ大幅に伸長したことに加え、スキンケア化粧品、医薬品も前年同期と比べ増加した結果、増収となりましたが、第3四半期の長期夏季休暇による操業度低下が影響し、営業損失となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、現地通貨ベースで前年同期比21.6%増、円換算後では前年同期比10.0%増の756百万円となりました。営業損失は5百万円（前年同期は60百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、218百万円増加し、7,156百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が233百万円減少し、固定資産が451百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な減少要因は、平成24年6月13日付で公表しました「固定資産の取得に関するお知らせ」に記載のとおり、茨城県つくば市に取得した固定資産（以下「つくば工場」という）の取得資金として定期預金252百万円を充当したことにより、現金及び預金が317百万円減少し、受取手形及び売掛金が18百万円、たな卸資産が99百万円増加したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、機械装置及び運搬具が106百万円、土地が164百万円、その他が183百万円増加したことによるものであります。このうち、土地及びその他の主な増加要因は、つくば工場の取得によるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、181百万円増加し、5,541百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が61百万円増加し、固定負債が119百万円増加したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、短期借入金が265百万円、未払法人税等が41百万円、賞与引当金が101百万円増加し、支払手形及び買掛金が113百万円、その他が209百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金309百万円増加し、社債が200百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、36百万円増加し、1,615百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金が48百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成24年4月17日に公表いたしました平成25年2月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「平成25年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において連結貸借対照表の流動負債の「その他」に含めて表示しておりました従業員に対する賞与につきまして、実態に即したより適切な開示を行うため、第1四半期連結会計期間より「賞与引当金」として区分掲記しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債の「その他」に表示しておりました42,884千円は、「賞与引当金」として組替えております。

(賞与引当金)

当社は、従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち、当四半期連結会計期間末における負担額を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817,300	500,091
受取手形及び売掛金	1,677,126	1,695,971
たな卸資産	960,548	1,060,141
その他	253,976	219,116
貸倒引当金	△569	—
流動資産合計	3,708,382	3,475,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,197,045	1,188,754
機械装置及び運搬具（純額）	286,293	392,667
土地	1,187,580	1,351,663
その他（純額）	88,343	271,559
有形固定資産合計	2,759,263	3,204,645
無形固定資産	198,001	193,160
投資その他の資産		
投資有価証券	166,760	168,476
その他	157,623	166,267
貸倒引当金	△51,369	△51,009
投資その他の資産合計	273,013	283,734
固定資産合計	3,230,278	3,681,540
資産合計	6,938,660	7,156,861
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	967,380	854,206
短期借入金	1,282,610	1,548,266
1年内償還予定の社債	200,200	200,000
未払法人税等	—	41,467
賞与引当金	42,884	144,338
役員賞与引当金	24,200	—
偶発損失引当金	2,014	2,004
その他	794,195	585,077
流動負債合計	3,313,485	3,375,360
固定負債		
社債	299,700	99,700
長期借入金	1,387,575	1,697,563
退職給付引当金	65,735	71,365
役員退職慰労引当金	172,910	172,910
その他	120,648	124,690
固定負債合計	2,046,568	2,166,228
負債合計	5,360,054	5,541,589

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	552,749	552,749
資本剰余金	781,854	781,854
利益剰余金	362,230	410,611
自己株式	△2,114	△2,150
株主資本合計	1,694,720	1,743,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,316	20,397
繰延ヘッジ損益	△8,675	△5,943
為替換算調整勘定	△126,755	△142,247
その他の包括利益累計額合計	△116,114	△127,792
純資産合計	1,578,606	1,615,272
負債純資産合計	6,938,660	7,156,861

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成23年3月1日 至平成23年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成24年3月1日 至平成24年11月30日）
売上高	5,423,253	5,317,729
売上原価	4,303,077	4,344,186
売上総利益	1,120,175	973,542
販売費及び一般管理費	773,940	763,729
営業利益	346,234	209,813
営業外収益		
受取利息	106	67
受取配当金	4,224	4,684
為替差益	—	12,629
保険解約返戻金	1,901	—
その他	7,159	8,150
営業外収益合計	13,392	25,531
営業外費用		
支払利息	61,539	51,690
社債発行費	3,369	—
寄付金	10,448	—
その他	9,407	2,800
営業外費用合計	84,763	54,491
経常利益	274,862	180,852
特別利益		
固定資産売却益	5,843	—
特別利益合計	5,843	—
特別損失		
固定資産除却損	5,408	739
退職給付制度改定損	69,176	—
特別損失合計	74,584	739
税金等調整前四半期純利益	206,121	180,113
法人税、住民税及び事業税	7,264	38,105
法人税等調整額	△104,452	28,934
法人税等合計	△97,188	67,039
少数株主損益調整前四半期純利益	303,310	113,073
四半期純利益	303,310	113,073

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	303,310	113,073
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,628	1,081
繰延ヘッジ損益	△4,806	2,731
為替換算調整勘定	△14,064	△15,492
その他の包括利益合計	△26,499	△11,678
四半期包括利益	276,810	101,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	276,810	101,394
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,735,164	688,088	5,423,253	—	5,423,253
セグメント間の内部売上高又は 振替高	59,460	—	59,460	△59,460	—
計	4,794,624	688,088	5,482,713	△59,460	5,423,253
セグメント利益又は損失(△)	412,278	△60,805	351,472	△5,238	346,234

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△5,238千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,560,883	756,845	5,317,729	—	5,317,729
セグメント間の内部売上高又は 振替高	57,466	—	57,466	△57,466	—
計	4,618,350	756,845	5,375,195	△57,466	5,317,729
セグメント利益又は損失(△)	216,436	△5,606	210,829	△1,016	209,813

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,016千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。